

宗内寺院紹介 88

東京教区第一部

慈雲山無量院
じゆうんざんむりやういん龍眼寺
りゆうげんじ

①



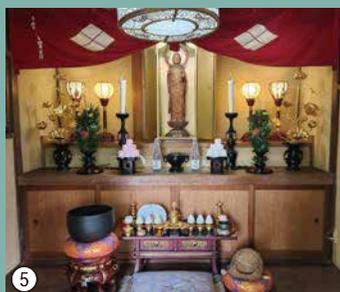
②



③



④



⑤

①本尊聖観世音菩薩 ②本堂 ③不動堂 ④布袋堂 ⑤地藏堂

当山は應永二年（一三九六）開山良博大和尚が比叡山での修行を終え帰国の途中、柳島の辻堂に一泊、その夜観世音菩薩が夢枕に現われ「汝の守るべき観世音菩薩と村の守護神のご神体がこの床下に在る」とのお告げにより授かり、至心に祈願した、当時村には疫病が流行していたが忽ち平癒した。村人の願いに寄り「柳源寺」を建立し、その聖観世音菩薩を本尊とし、厄除・眼病平癒の観音様として信仰を集めている。

その後現在の「龍眼寺」（時代不明）と改められた。

江戸初期には、住職が百種類もの萩を諸国から集めて境内に植えたことから、通称「萩寺」として多くの文人墨客が訪れ、「江戸名所図会」には萩を愛でる人々でにぎわう様子が描かれています。

東京教区第一部
慈雲山無量院 龍眼寺

住所／〒136-0071 東京都江東区亀戸3-34-2
電話番号／03-3681-2620